

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入学試験
科目	【外国語型】英語

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

「コミュニケーションにおける認知バイアスと説得力の関係」をテーマとした講義映像を視聴し、講義内容に関する選択式問題に解答する。文脈に即して語彙の意味を適切に理解する力、情報を正確に聞き取る力、論理的な議論の流れを理解する力、話者の主張を的確に把握する力など、英語による総合的な理解力を評価する。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入試
科目	外国語（フランス語）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

人文社会分野における論説文を題材とする問題である。現代社会の問題を含む題材について、一般的な語彙を理解した上で、内容を正確に読み取れているかを問う。またテキストで扱われている問題について、自分の場合をフランス語で表現することができ、また根拠を示しつつ自分の意見を展開できるかを問う。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部 自己推薦入学試験 日本史学専攻
科目	専攻(プログラム)別試験（歴史資料読解力試験） 日本史

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

- ・歴史史料を読解できる基本的な能力をみる。
- ・著名な歴史史料について基礎的な知識を有しているかどうかをみる。
- ・日本（倭）と東アジア（この場合は中国）の関係について考察できるかをみる。
- ・時代ごとの、日本列島における歴史的状況について考察する力をみる。

日本史学を学修する基本的な能力、そのための必要最低限の基礎的な知識を有していること、講義を聴講し史料をみた上で歴史上の課題を考察する能力があるかどうかをみる。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入試
科目	哲学専攻

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

この問題では、哲学の歴史において重要な役割を演じてきた懐疑主義(scepticism)の理解を問うている。その理解のテストを通じて、受験者が哲学専攻に入学後、授業や卒業研究に対応できる適正があるか、英語で抽象度や難易度の高いテキストを読み解く力があるか、を測ろうとするものである。問題は合計6つであるが、1. から5. までは、標準的とも言える日本語訳の出題、および英語文章の内容読解に関するもので、6. は本文を踏まえて論述する力を問う出題となっている。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部・自己推薦入学試験
科目	専攻(プログラム)別試験（社会学専攻・講義理解力試験）

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

※この【出題の意図】についての質問、照会には一切回答しません。

※本学入学者選抜のための科目ごとの配点については、2025 年度中央大学学生募集要項を参照してください。

【問題】

以下の 3 つの設問全てに解答してください。

※それぞれの設問への解答の冒頭に必ず「設問 1」「設問 2」「設問 3」と設問番号を書いてください。

設問 1 講義をふりかえって、社会の変化が「コミュニケーション・メディア」からどのように説明されていたか、まとめてください。

設問 2 マスメディアの特徴について、その長所と短所を、「コミュニケーション・メディア」に着目して説明してください。その際、必ず具体例もあげてください。

設問 3 貨幣経済の影響で生じている「社会問題」を、具体例をあげて説明してください。また、あなたが取り上げた「社会問題」に対して、どのような解決策が考えられるか説明してください。

【出題の意図】

社会学の講義を受けたうえで、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を問うことを狙いとしている。

設問 1 講義の内容について、社会の変化をコミュニケーション・メディアから理解し、的確に整理することを求めている。基礎的な理解力を問う問題である。

設問 2 講義の内容について、社会の変化をコミュニケーション・メディアから理解したうえで、それが社会や人間に対して及ぼす影響を、具体例を挙げつつ、批判的思考力を通じて整理することを求めている。

設問 3 コミュニケーション・メディアのもたらす問題を具体例を挙げて、批判的思考力を通じて整理することに加えて、そうした問題に対して解決の道筋を探究するための発想力・構成力・表現力を問う、総合的な論理的思考力を問う問題である。

心理学専攻 出題の狙い

心理学は、科学的な方法を用いて、人の心の仕組みを解明していこうとする学問です。科学の定義は人により異なりますが、ある学問が科学的であるためには、その方法が「客観性、測定性、検証性」といった要件を備えていることが求められます。そのため、実験によるデータ収集と、得られたデータの統計学的検定は、心理学における最も主要な方法と言っても過言ではありません。この問題は、受験生が大学入学後に科学的心理学の学びを進めていく能力や心構えを有しているか否かを見る狙いで作成されました。

本学で心理学を学ぶ大学生は卒業論文を執筆する過程で心理学実験を自ら計画し実行することになりますが、そのためには論文や書籍の中に記述されている先行研究の実験手順や得られた結果をていねいに読み込んで正しく理解する力が求められます。

問題①では、受験生は長文の資料からの的確に該当箇所を見だし、実験で示された事実と、その解釈がどのように積み重ねられていったかを読み取ることが求められています。また、文章で記述された事実や論理の流れを図解したり、文中に示されたデータを分かりやすく表にまとめること、すなわち他者に伝える多様なスキルを発揮することも期待されています。

問題②は、先に述べたように心理学の定義を理解していることを確認するための問題です。問題③は、文章読解能力を見るためのものです。それは、大学生として心理学を学んでいくためには、必要不可欠な能力と言えるものです。

中央大学 2025 年度特別入試 【出題の意図】

学部・試験方式	文学部 学びのパスポート 自己推薦入試
科目	小論文

※本件についての質問・照会には、個別に回答することはいたしません。

【出題の意図】

社会問題（今回は教育格差がメインテーマ）に関する複数資料を限られた時間内にきちんと読み解き、問題の所在を理解した上で自らの意見や考えを作文する能力を問うている。
同時に学びのパスポートに入学してから、本コース独自の自主的な学びに必要な論理思考性を評価対象としている。